

サポート機能一覧

記載事項は、おことわりなしに変更することがあります。



SmartStudio対応試験

機能	説明	SmartStudio				
		LTE	W-CDMA	GSM	CDMA2000	TD-SCDMA
一般						
位置登録	MD8475Aと携帯端末が接続し、試験ができる環境を作ります。	○	○	○	○	○
L1/L2カウンタ	L1/L2レイヤの各チャネルごとの値を1秒ごとにカウントします。	○	○	○	○	○
スループットカウンタ	PHYレイヤとIPスループット(SDU)を同時に表示します。	○	○	○	○	○
トレース	各レイヤごとのイベントを矢印で表示します。	○	○	○	○	○
Reject	端末が接続するときに、任意に拒否メッセージを返信します。	○	○	○	○	○
Neighbourセル設定	試験している基地局に隣接する基地局情報を端末に通知します。	○	○	○	○	○
RF関連						
送受信パワー設定	IDLE、Communication中に基地局の送受信パワーを変更できます。	○	○	○	○	○
圏外設定	BTS Power出力をOFFにし、携帯端末を圏外状態にします。	○	○	○	○	○
RFモニタ	周波数や周波数誤差、PDSCHやPUSCHなど各チャネルごとのパワーを表示します。	○	○	○	○	○
TPC設定	TPC(Transmit Power Control)を任意に変更できます。	○	○	○	○	○
AWGN*1	通常の信号と共にAWGNを送信します。	○	○	○	○	○
RF Measurementオプション	1秒ごとに端末のRFパワーを測定します。	○	○	○	○	○
外部制御						
Ethernet	外部のPCからSmartStudioの動作(パラメータ選択、スタートなど)を制御できます。	○	○	○	○	○
GPIB	外部のPCからSmartStudioの設定パラメータを制御できます。	○	○	○	○	○
音声通信						
LTE FDD/TD-LTE						
VoLTE/Video発呼/着呼(ループバック)	Voice over LTE/Video over LTEに対応した携帯端末の通話試験を行います。	○				
緊急呼/発信規制	LTEにおいて緊急呼やVoLTE/Video通話の規制を設定できます。	○				
Codec change	音声およびビデオのコーデックを任意に変更し、携帯端末の切り替え試験ができます。	○				
LTE FDD/TD-LTE/W-CDMA/GSM/CDMA2000/TD-SCDMA						
CSFB/eCSFB*2	LTE通信中にほかのシステムの音声着信があった場合、自動的に通信方式を切り替えます。	○	○	○	○	○
SRVCC*2	VoLTE通話中に、W-CDMAの音声通話にシームレスな切り替え試験が行えます。	○	○			
W-CDMA/GSM/CDMA2000/TD-SCDMA						
音声発呼/着呼/終話(ループバック/エコーバック)	ループバックによる通話試験を行います。*3		○	○	○	○
音声発呼/着呼/終話(ハンドセット)	ハンドセットによる通話試験を行います。		○	○	○	○
緊急呼発信	Test SIM有り/Test SIM無しの緊急呼発信試験を行います。*4		○	○	○	○
発信者番号設定	発信者番号通知/非通知/通知不可/公衆電話着信、国際電話着信設定を行います。		○	○	○	○
発信規制(Release99) <Barred>	W-CDMA/GSM/TD-SCDMAにおいてRelease99に対応した発信規制状態にします。全ての通信が発信規制されます。		○	○		○
発信規制(Release99) <Emergency>	W-CDMA/GSM/TD-SCDMAにおいてRelease99に対応した発信規制状態にします。緊急呼発信を除き、発信規制されます。		○	○		○
発信規制(PSIST/ACCT)	CDMA2000において発信規制状態にします。				○	
W-CDMA/TD-SCDMA						
テレビ電話発呼/着呼/終話(ループバック)	ループバックによる通話試験を行います。*3		○			○
パケット通信						
IPv4パケット試験	IPv4に対応したデータの送受信ができます。	○	○	○	○	○
IPv6パケット試験	IPv6に対応したデータの送受信ができます。	○	○	○	○	○
Packet Preservation/ドーマント試験	PDP Contextを維持しながら、RRC Connectionをリリースします。	○	○	○	○	○
Multiple PDP Context/PDN Connect	複数のPDNを接続しマルチセッションにおけるパケット通信試験を行います。	○	○	○	○	○
State Change	パケット中に基地局からStateの変更ができます。	○	○	○	○	○
LTE FDD/TD-LTE						
SISO/MIMO*5パケット発呼/着呼	サーバを接続しパケットデータ通信を利用したアプリケーション試験を行います。	○				
SISO/MIMO*5パケット移動機側切断		○				
SISO/MIMO*5パケット網側切断		○				
2CC SISO/MIMO*6パケット発呼/着呼	サーバを接続しパケットデータ通信を利用したアプリケーション試験を行います。	○				
2CC SISO/MIMO*6パケット移動機側切断		○				
2CC SISO/MIMO*6パケット網側切断		○				
W-CDMA						
W-CDMA/HSPA*7/HSPA Evolution*8パケット発呼/着呼	サーバを接続しパケットデータ通信を利用したアプリケーション試験を行います。		○			
W-CDMA/HSPA*7/HSPA Evolution*8パケット移動機側切断			○			
W-CDMA/HSPA*7/HSPA Evolution*8パケット網側切断			○			
PPPパケット発呼	PPP(内蔵サーバ)パケット試験を行います。(*シリアル接続には対応していません)		○			
PPPパケット移動機側切断	PPP(内蔵サーバ)パケット試験を行います。		○			
PPPパケット網側切断	PPP(内蔵サーバ)パケット試験を行います。		○			
GSM						
GPRS/EGPRS*9パケット発呼/着呼	サーバを接続しパケットデータ通信を利用したアプリケーション試験を行います。			○		
GPRS/EGPRS*9パケット移動機側切断				○		
GPRS/EGPRS*9パケット網側切断				○		
CDMA2000						
CDMA2000/EVDO*10パケット発呼	サーバを接続しパケットデータ通信を利用したアプリケーション試験を行います。				○	
CDMA2000/EVDO*10パケット網側切断					○	
SV-DO試験	音声とパケット通信を同時に接続を行います。				○	
TD-SCDMA						
TD-SCDMA/HSPA*11パケット発呼/着呼	サーバを接続しパケットデータ通信を利用したアプリケーション試験を行います。					○
TD-SCDMA/HSPA*11パケット移動機側切断						○
TD-SCDMA/HSPA*11パケット網側切断						○
メッセージング						
ETWSメッセージ送信	IDLE中、もしくはCommunication中にETWSメッセージの送信試験を行います。	○	○	○	○	○
CMASメッセージ送信	IDLE中、もしくはCommunication中にCMASメッセージの送信試験を行います。	○	○	○	○	○
SMSメッセージ送信/受信	PS網、CS網を使用したSMS(7bit-ASCII、Unicode、Binary)試験を行います。*3	○	○	○	○	○
SMS over IMS試験	IMSサーバ経由のSMSメッセージ送受信試験を行います。	○	○	○	○	○
SMSメッセージ連続送信	選択された複数のSMSを移動機に対して連続送信します。	○	○	○	○	○
MMS送信/受信*12	MMSの送信・受信試験を行います。	○	○	○	○	○

*1: MD8475 A-011もしくはMD8475 A-070のみ対応します。

*2: 2システム構成のみ試験できます。

*3: 2台の移動機を使った対向試験はできません。

*4: CDMA 20000でTest SIMは使いません。

*5: MIMO試験を行う場合、MD8475 A-001およびMX847550 A-020が必要です。

*6: 2CC SISO試験を行う場合、MX847550 A-040が必要です。

また、2CC MIMO試験を行う場合、2台のMD8475 Aが必要です。

*7: HSPA試験を行う場合、MX847510 A-001が必要です。

*8: HSPA Evolution試験を行う場合、MX847510 A-011、MX847570 A-011が必要です。

*9: EGPRS試験を行う場合、MX847520 A-001が必要です。

*10: EVDOパケット試験を行う場合、MD8475 A-032が必要です。

*11: TD-HSPAパケット試験を行う場合、MX847540 A-001が必要です。

*12: 別途MMSサーバが必要です。